

京丹後市立図書館

2023年度

おすすめの本

中学年
3・4年生向き

『豆わたし』（岩崎書店）

上嶋 常夫/原案 岡田 潤/構成・絵 おおたに みねこ/文



川の水をめぐっていがみあう、ふたつの村。ひそかに想いあう天音村のじんじろうと天流村のねねは、「豆わたし」であらそいを止めようと決心する。心と知恵を育む、創作民話絵本。

『夜空をみあげよう』（福音館書店）

松村 由利子/文 ジョン・シェリー/絵



毎晩夜空を見上げるはるかとしゅん。夏の大三角、地球照、空を横切るISS…。都会の夜空にも、宇宙の神秘を感じられるシーンはたっぷりあります。そして、はるかたちはペルセウス座流星群を見に山へ！ 夜空観察入門絵本。

『42本のローソク』（富山房インターナショナル）

塚本 やすし/作・絵



もうすぐ42歳になるお父さんは、今年が厄年。お父さんが病気やけがで苦しまないように、少年はお兄ちゃんと相談して、お父さんの誕生日に大きないちごのショートケーキをプレゼントすることにしたが…。親子の情愛の物語。

『いそあそびしようよ!』（ほるぷ出版）

はた こうしろう/作 奥山 英治/作 はた こうしろう/絵



お兄ちゃんとぼくは、大きなしおだまりを静かにゆっくりとみた。だんだんいろんないきものが見えてきた。隠れていた魚たちも出て来たぞ! いそあそびの楽しさをつたえる絵本。

『ホームランを打ったことのない君に』（理論社）



長谷川 集平/作

けがをしても野球への情熱は失わない、野球部出身の仙吉。いつかホームランを打つ。あきらめずにがんばろう…。夢に向かって歩き続けることの大切さを、野球が大好きな少年と、野球を愛し続ける仙吉との交流をとおして描く。

『ジョン万次郎 海をわたった開国の風雲児』（あかね書房）



山口 理/文 福田 岩緒/画

貧しい漁師の家に生まれて育ち、運命のいたずらで歴史に名を残すまでになった万次郎。運命の糸を自分の足もとに引き寄せたジョン万次郎の人生と、彼をとりまく人びとを紹介します。

『魔女のシュークリーム』（BL出版）



岡田 淳/作・絵

ある日、魔女に「いのち」をにぎられた動物たちがダイスケのもとにあらわれた。魔法をとくカギはシュークリームだという。動物たちに頼まれ、ダイスケは巨大なシュークリームを食べることに…。

『しろくまだって』（小峰書店）



齊藤 洋/作 高島 純/絵

マルクとカールはしろくまの兄弟。人間の落としていったラジオで言葉をおぼえた二人は、町へ出て行き“しろくまじるしの宅配便”で大あたり。好奇心にあふれた二人の生き方をユーモアたっぷりに描いた楽しい読み物です。(出版社H.Pより引用)

『笑われたくない!』（文研出版）



手嶋 ひろ美/作 大庭 賢哉/絵

手足が不自由な結花は、お楽しみ会の出し物で小雪と二人羽織をすることに。練習して上手になるつもりだったのに、同じ班の翔太と信吾から、観客を笑わせるためにわざとへんな食べ方をしろと言われてしまい…。

『手と手をぎゅっとなぎったら』（佼成出版社）



横田 明子/作 くすはら 順子/絵

特別支援学校って、いったいどんな学校で、どんな子どもたちが通っているんだろう。初めて特別支援学校を訪れた虹川小学校4年生のわたるにとって、そこは驚きの連続で…。知的障害クラスの児童たちとの心の交流を描いた物語。

無断での複写・転載を禁止します。本の内容紹介はTRC MARCより転載しています。

ほかにもあるよ おすすめの本

『ネコが好きな船長のおはなし』
インガ・ムーア/作・絵
たが きょうこ/訳
(徳間書店)

『どっちでもいい子』
かさい まり/文
おとない ちあき/絵
(岩崎書店)

『ニワシドリのひみつ』
鈴木 まもる/文・絵
(岩崎書店)



貸し出し中の本は予約もできます。くわしくは職員におたずねください